

地区社協からのお願い

地区社協が取り組んでおられる事業の便りをご紹介します。

河辺地区社協より

さる七月九日に河辺の大伍地区にて、地区社協として初めて「介護に関する勉強会」を実施していただき、好評をいただきました。



今回は、話を聞くだけではなく是非実技をしないと、介護用品取り扱い業者さんからベッドをお借りして、ベッドから車いすへの移乗の仕方等の講習を行いました。その中で、最近の福祉用具は便利に進化しているということも、実物を使いながら見せていただきました。その一部がこちらです。

まごころのおくりもの7月分

金銭の部 (一般分)

(故)中野茂明様 長浜様
金光教大洲教会信徒会 大洲

(指定分)

- 《久米地区社協へ》 楠田すみ子様 阿蔵
- 《肱北地区社協へ》 いよぎん中村会様 中村
- 《喜多地区社協へ》 山中清子様 田口
- 《平野地区社協へ》 中野千春様 平野町
菊池実様 平野町
矢野睦子様 松山市
- 《菅田地区社協へ》 鳴滝勝明様 菅田町
- 《三善地区社協へ》 白石愛子様 春賀
- 《上須戒地区社協へ》 西山茂様 上須戒
上田サヨ子様 上須戒
- 《長浜地区社協へ》 (故)中野茂明様 長浜
- 《河辺地区社協へ》 松岡敬様 河辺町
宮岡末光様 河辺町
- 《特別養護老人ホーム かわかみ荘様へ》 草莽の一蛭様 大洲市

物品の部

- 《大洲市社会福祉協議会へ》 大洲婦道会様 柚木
タオル 62枚
- 本竜拙宗様 河辺町
ダイハツミライース 1台

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。



この車椅子は、肘掛けを後ろに倒して、肘掛けとがで、ベッドとの行き来の際に、肘掛けが邪魔にならないように改良されたものです。

上の車椅子と一緒に使うのがこれ



実技講習は、まず寝返りの理屈とコッペコッペと実際に寝返りながら確かめる所から始めました。



ベッドから車いすへの移乗を介助者役と要介護者片マヒの方の設定役に分かれ行ってみました。



このブレイクは表面がよく滑り、ベッドと椅子の間を橋渡しさせることで、一人でも楽に移動することが出来ます。もちろん介助する方にも横に滑らすだけなので有難い道具です。



この手袋は、よく滑る素材でできており、寝ている方の体とベッドの間に手を滑り込ませることが出来ます。背上げや背下げ等で痛みやストレスのない優しい介助ができるのです。血流が滞ってできる褥瘡の予防にも役立ちます。



この布は、二層構造になっておりよく滑ります。布なので下に敷きこみやすく、ベッドの下へずれてしまつた方も、自力でベッドの端を蹴るだけで戻ることが出来ます。もちろん、介助者が引き上げるのも、するーと上げることが出来ます。

参加された皆さんは、「私の時はベッドの上に乗って力いっぱい上に引っ張り上げていたのに!」「これなら楽に介護ができそうだ!」など感嘆の声を上げておられました。とても楽しく勉強できた一日でした。

大分やりやすくなったねえ!

